

整理番号 2019M-027
補助事業名 2019年度 ファインセラミックスに関する国際標準化推進 補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本ファインセラミックス協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本が幹事国のISO/TC206、ISO/TC150/SC7の国際委員会に専門家委員を派遣し、初期段階より我が国の提案・意見を反映させ、我が国が有利な国際規格策定を目指す。又国内では、幹事国業務委員会にて、戦略立案・規格内容の精査・規格化の進め方等を審議する。もって、我が国機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① ISO/TC206総会 (URL <http://www.jfca-net.or.jp/contents/index/33>)

ISO/TC206第26回総会が、2019年10月16日、4カ国の参加を得て、中国・済南で開催された。総会前の14日及び15日には、WG（ワーキンググループ）・AG（アドバイザリーグループ）会議に加えて、昨年の総会で設置が決議されたタスクグループにおいて、規格原案の審議と新業務項目の今後の取扱いなどが議論された。今後も確実に規格開発プロセスを進展させ、国際規格化を目指す活動が必要である。



参加者



総会会場

② ISO/TC150ルンド総会 (URL <http://www.jfca-net.or.jp/contents/index/56>)

2019年ISO/TC150ルンド総会及びSC（分科委員会）・WG（ワーキンググループ）会議が、2019年10月14日～18日、スウェーデン・ルンドで開催された。日本提案の規格内容の説明を行うと共に、各国専門家と規格内容についての議論や情報交換を行った。日本発の提案に関して、今後とも規格開発プロセスを確実に進展させ、国際規格化を目指す活動が必要である。なお、ISO/TC150/SC7委員会は、総会と同時開催され、これまで提案された文書及び今後提案予定の文書案に関する審議に参加すると共に、TC150/SC7における国際標準化状況の調査などを行った。



全大会



個別会議

2 予想される事業実施効果

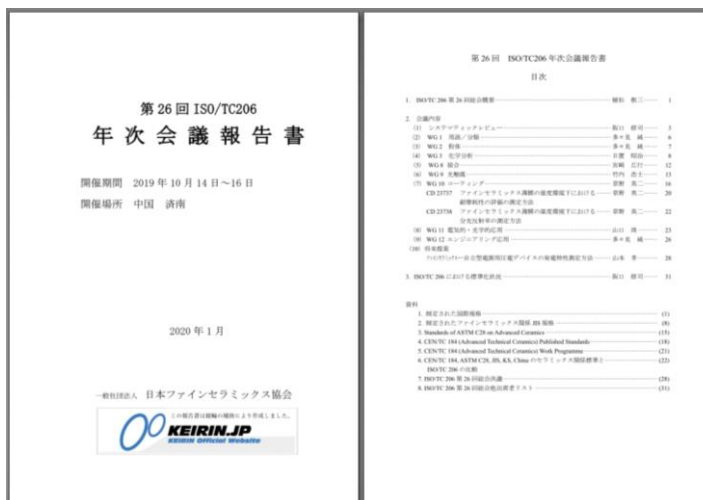
ISO/TC206については、ファインセラミックス関連の特性試験方法や評価方法等の規格を策定する事によって、品質を明確に識別できる・粗悪品を市場から排除できる等の成果が期待でき、広範囲の分野で製品の性能向上や普及拡大に貢献できる。具体的には、光触媒による抗菌抗ウイルス市場の拡大、複合材料を使った軽量高耐熱材料の開発、高効率な燃料電池の普及促進などに寄与する事が期待できる。

ISO/TC150については、外科用インプラントの再生医療機器に関する特性試験方法や評価方法等の規格を策定する事によって、品質を明確に識別できる・粗悪品を市場から排除できる等の成果が期待でき、様々な製品の性能向上や普及拡大に貢献できる。具体的には、再生医療機器の普及などに寄与する事が期待できる。

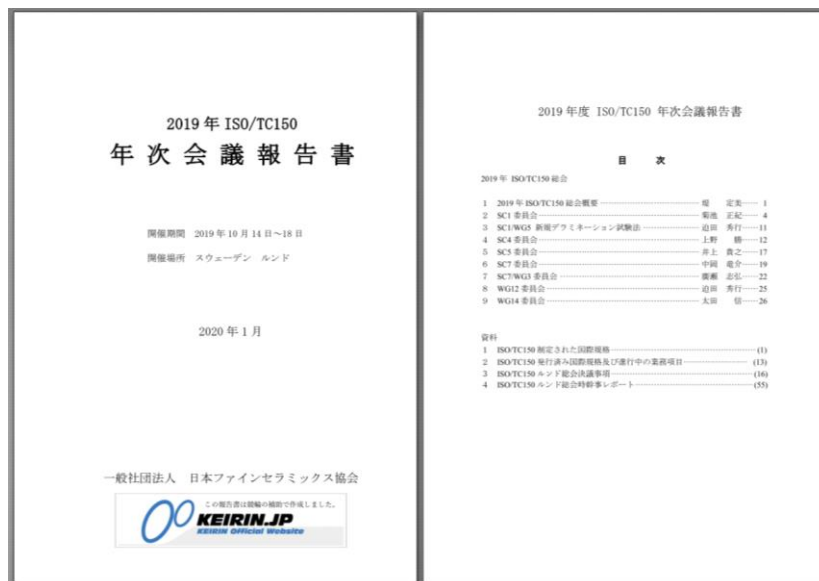
3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

①第27回ISO/TC206年次会議報告書(URL <http://www.jfca-net.or.jp/contents/index/33>)



②2019年ISO/TC150年次会議報告書 (URL <http://www.jfca-net.or.jp/contents/index/56>)



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本ファインセラミックス協会

住所： 〒105-0011
東京都港区芝公園一丁目2番6号

代表者： 会長 尾堂 真一

担当部署：

担当者名： 技術担当部長 ^{うすぎぬ} 薄衣 ^{みつあき} 光明

電話番号： 03-3431-8271

F A X： 03-3431-8284

E-mail： usuginu@jfca-net.or.jp

U R L： <http://www.jfca-net.or.jp>